



## 理工学部女子学生向け大学院入試説明会 今 女性が幸せに生きる為に ～大学院という選択～

日 時：平成27年5月29日（金）14：30～15：30

場 所：桐生キャンパス総合研究棟3F 303 教室

参加者：34名（学部4年生32名、大学院生2名）

協力大学院生、教員（杉石助教、吉村助教）13名

男女共同参画推進室関係者（工藤、村岡、長安、中村、木村）計52名

5月29日（金）、桐生キャンパス総合研究棟3階303教室で、初めての取り組みとして理工学部4年の女子学生のみを対象とした大学院入試説明会を開催しました。講演内容が親しみやすかったこと、グループごとに円座を組む形式としたことも手伝って終始和やかな雰囲気では進行し、予定時間を延長するほど盛況な会になりました。



分子化学部門 吉村助教

本説明会のテーマである「今 女性が幸せに生きる為に～大学院という選択～」に沿って、第一部では2名の講師による講演を、第二部では若手女性教員および先輩女子大学院生とのグループミーティングを行いました。

第一部では、分子科学部門吉村弥生助教が、「大学院生活を経て出会う人それぞれの研究の面白さ」と題して研究に関連したキャリアデザインについて、男女共同参画推進室中村治美両立支援アドバイザーが「あなたが作るあなたの未来・自己プロデュースする力」と題して生活と仕事の両立について講演されました。



男女共同参画推進室 中村両立支援アドバイザー

研究者の卵である参加者は、吉村助教のデンマーク留学や研究の話に大変興味を示し、熱心に聞き入っていました。留学先の選定やきっかけ作りを自ら行い、大学院生時の短期留学を経て博士研究員のポストを得た、という具体的な体験談を直接聞くことは女子学生達が大学院進学を真剣に考える良いきっかけになったはずです。

また、中村氏は親としての立場から就職・進学を控えた学生を子に持つ親の心情や経済的問題について話され、さらに、これからの女性は夢を諦めず、タイミングを逃さずチャンスを掴み、知識・経験・資格の三種の神器を武器に自らを幸せにする「自己プロデュース力」を発揮して、人生を切り拓くことを強く勧めておられました。



グループミーティングに参加する女子学生のみなさん

第二部のグループミーティングは、参加者、若手女性教員、協力大学院生を6つのグループに分け、自由歓談としました。普段理工学部的女子学生は学科を超えた交流や大学院生から貴重な実体験を直接聞く機会は少ないため、皆熱心に話し合い、終了予定時間を過ぎても話は尽きないようでした。



開会挨拶と司会進行は工藤男女共同参画推進室長

終了後のアンケートでは本会が有益だった、大学院に進学してみたいくなった、との意見が大半を占めたため、今後の継続的な開催に向けて良い弾みがついたと考えられます。

秋には学部3年生を対象にした同説明会の開催も予定しており、これらの説明会が多くの女子学生の進路選択に役立つことを期待しています。